

平成11年度交通環境影響調査について（一般地域）

【大気騒音科】

1 調査地点及び調査年月日

	測定地点	測定場所	測定年月日
鳥取市	A地域	鳥取市玄好町209	H11.10月26日6:00～10月27日5:00
	B地域	鳥取市吉方温泉2丁目501	H11.10月28日6:00～10月29日6:00
	C地域	鳥取市松並町2丁目470	H11.10月29日6:00～10月30日6:00
倉吉市	A地域	倉吉市天神町264-3	H11.10月13日6:00～10月14日6:00
	B地域	倉吉市葵町702-8	H11.10月28日6:00～10月29日6:00
	C地域	倉吉市上井町1丁目7-13	H11.10月28日6:00～10月29日6:00
米子市	A地域	米子市永江町永江東公園	H11.11月2日6:00～11月3日6:00
	B地域	米子市上福原7丁目6-58	H11.11月4日6:00～11月5日6:00
	C地域	米子市明治町公園脇	H11.11月5日6:00～11月6日6:00
境港市	A地域	境港市竹内町40	H11.11月16日6:00～11月17日6:00
	B地域	境港市外江町外江公民館	H11.11月10日6:00～11月11日6:00
	C地域	境港市日の出町	H11.11月11日6:00～11月12日6:00

2 調査項目及び使用機器

- 1) 自動車騒音：騒音に係る環境基準に基づく測定方法で行い、等価騒音レベル値を求めた。

使用機器：RION 普通騒音計 NA-20、NA-61

RION レベル処理器 SV-76

- 2) 気象要素：携帯用風向・風速計、乾湿球温度計

3 調査結果の概要

1) 騒音

- (1) LAeq：LA50の昼間、夜間、1日の各測定地点における結果について（表1）

1日のLAeq値で見れば、鳥取、倉吉では、B地点、米子ではC地点、境港市ではA地点が高い値を示している。また、全体的に境港市が高い傾向にある。

表1 LAeq：LA50の昼間、夜間、1日の各測定地点における結果(dB)

		昼間		夜間		日	
		LAeq	LA50	LAeq	LA50	LAeq	LA50
鳥取市	A地域	43.7	40.6	40.2	31.3	42.8	37.5
	B地域	50.3	45.2	46.7	40.8	49.4	43.7
	C地域	48.6	43.8	43.7	38.8	47.5	42.1
倉吉市	A地域	50.3	40.5	42.3	38.1	48.9	39.7
	B地域	56.7	47.2	45.7	40.5	55.1	45.0
	C地域	51.9	44.0	38.6	35.8	50.2	41.3
米子市	A地域	45.2	39.4	44.6	37.9	45.0	38.9
	B地域	46.0	42.8	41.0	38.7	45.0	41.6
	C地域	53.4	49.7	46.1	40.3	52.2	46.8
境港市	A地域	54.6	47.1	42.3	36.6	53.0	43.6
	B地域	52.1	40.5	40.8	36.6	50.5	39.2
	C地域	52.4	45.7	45.6	38.6	51.1	43.3

(2) 各地点（鳥取3地点、倉吉3地点、米子3地点、境港3地点）におけるLAeq値とLA5・LA10・LA50・LA90・LA95・LAmaxの相関について（表2）

1）倉吉市（C地域）、米子市（B,C地域）、境港市（A地域）のようにLAeqに対して全て良

い相関を示している場合、2）LAeqとLA50は高い相関を示しているが、LAmaxに対して相関が低い場合、3）これとは逆の場合、4）LAeqとLA5、LA10は高い相関を示すが、その他に対しては低い場合の4個のパターンに分かれている。

表2 LAeq値とLA5・LA10・LA50・LA90・LA95・LAmaxの相関

	測定場所	LA5	LA10	LA50	LA90	LA95	LAmax
鳥取市	A地域	0.9706	0.9804	0.9536	0.8921	0.8856	0.5750
	B地域	0.9203	0.8385	0.6986	0.5421	0.5349	0.8247
	C地域	0.7373	0.7715	0.6909	0.6572	0.6512	0.8805
倉吉市	A地域	0.8622	0.8755	0.4773	0.3684	0.3416	0.6844
	B地域	0.9767	0.9288	0.6983	0.5594	0.5380	0.6024
	C地域	0.9913	0.9765	0.9156	0.8664	0.8452	0.8692
米子市	A地域	0.8037	0.7784	0.7812	0.6917	0.6600	0.5016
	B地域	0.9033	0.9386	0.9407	0.8492	0.8203	0.3204
	C地域	0.9502	0.9375	0.9013	0.8617	0.8497	0.7323
境港市	A地域	0.9596	0.9517	0.9594	0.9484	0.9412	0.7428
	B地域	0.9134	0.9062	0.7574	0.6359	0.6205	0.8948
	C地域	0.6862	0.6988	0.5922	0.4732	0.4492	0.5991

(3) 測定時間ごとのLAeq値とLA50値の相関について（表2）

鳥取市の場合、LAeqとLA50が相関は低く、LAmaxに対して相関が高い場合は、LAmaxがLAeq値を上げている可能性が考えられる。また倉吉市A地域においては、犬の声はLAeqとLA5、LA10に対しては影響はないが、LAeqとLA50～LAmaxに対しては影響を与えている可能性がある。同様なことが倉吉市B地域、境港市C地域においても考えられる。

度が高くなればLAeq値が低くなる傾向がみられる。これらは、湿度によって音が吸収されるものと考えられる。

(4) 時間別騒音レベル

各測定地点におけるLAeq値とLA50値の時間別騒音レベルは異なったパターンを示している。全ての測定地点ではLAeq値とLA50値のレベル差（LAeq値はLA50値に比べ値が高いため、LAeq値からLA50値を引いた値）は11.0デシベル内であった。

(5) LAeqと温度、湿度の関係

温度が高くなればLAeq値も高くなり、また湿